

<金標準、米中の関税対話に期待感の高まりでリスク緩和・・・>



(出所：オアシス)

週末に発表された雇用統計では、非農業部門就業者数が 17.7 万人増、失業率でも 4.2% となり、6 月の利下げ観測が 7 月へ後退している。またトランプ大統領は、NBC のインタビューで中国に対する 145% の追加関税に対して「いずれは関税を引き下げるつもりだ。そうでなければ彼らとはまったくビジネスができない。彼らは積極的に取引を望んでいる」と述べ、パウエル FRB 議長へ対する解任についても「そんなことをする必要はあるだろうか」と質問に切り返し、「もう少し待てば別の人物に交代させることが可能だ」と述べるなど、市場に配慮した言い回しを行っている。また中国も米国との通商協議で報道官は「米国は最近、中国との協議開始を期待し、関係各方面を通じて中国側にメッセージを伝えてきている」とし、「中国はこの点を評価中だ」と説明するなど米中貿易交渉に明るい兆しを見せている。そのためリスク緩和に伴い、高値が止まる動きに思え、再度 15000 円を割り込む値動きに注意が必要に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げながら、シグナルも下げている。RCI では短期が切り返し、長期は横ばいしている。特に日足が 10 日移動平均線を下回っており、40 日移動平均線が位置する 14813 円へ向けた下値追いには注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,455,000 円(2025 年 5 月 7 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2025 年 5 月 7 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>